

ABAミニ講座

1. ABA（応用行動分析）の基本原理

行動	+	ほうび (強化子)	→	行動の増加	(強化)	適切な行動はどんどん強化する
行動	+	ほうびなし	→	行動の減少	(消去)	問題行動は叱らず消去（無視）する
行動	+	罰	→	行動の減少	(罰)	罰は最後の手段 「10 ほめて1 叱る」
						不快を与える罰 快を取り去る罰

2. 問題行動への対処法

(1) かんしゃく

かんしゃくは、要求実現の手段。大人の譲歩や注目によって強化されている

対処法：無視（消去） + 代替りの適切な行動を強化（DRO）

(2) 自己刺激

自己刺激はそれ自体がほうびになっているので無視しても効き目がない。

対処法：適切な行動（遊びなど）を教えることで間接的に減らす

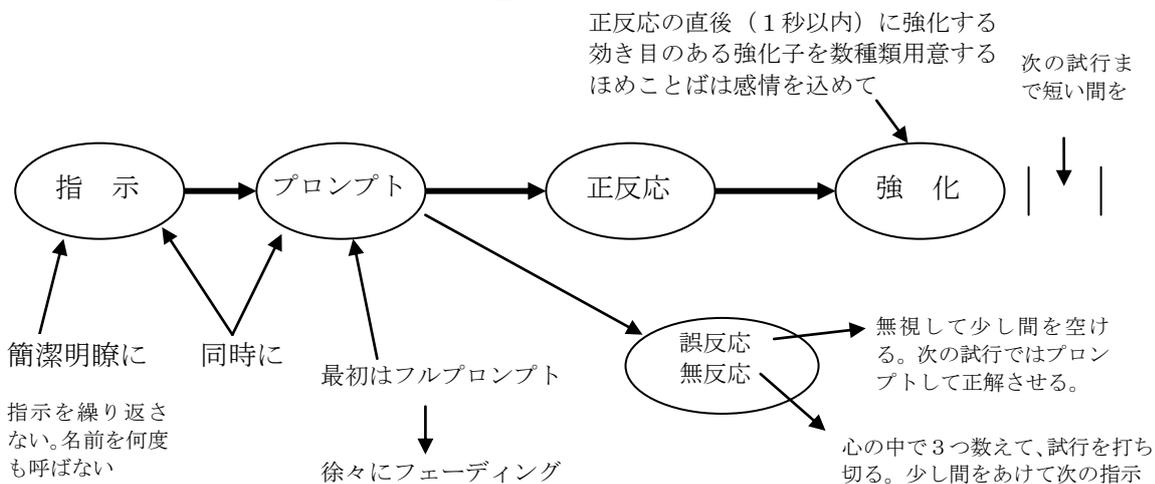
3. 適切な行動の教え方

(1) 教え方のポイント

スモールステップ + プロンプト + 強化

教えたいことは細かな単位に分けて1ステップずつ。プロンプト（手助け・ヒント）を惜しまず、子どもを成功させる。必ず効き目のある強化子を用意し、正解のあと直ちに与える。

(2) ディスクリート・トライアル（不連続試行）



(3) 弁別学習

二つ以上の指示や教材を区別させるときは、ランダムローテーション

二つの指示をランダム(不規則)に出す。例：頭、お腹、お腹、頭、お腹、頭、頭、頭、お腹
10試行中9試行以上正解したらOK

(4) その他のポイント

・ シェイピング

いきなり目標行動を目指すのではなく、まずそれに近い行動を強化し、徐々に目標に近づく

・ チェイニング

服を着るなどの長い複雑な行動は、細かな単位に分解し、一番最後のステップから先に教えて、徐々にさかのぼる（バックチェイニング）。

・ 般化 1つの環境で教えたことを別の環境に応用させること。人の般化、場所の般化、教材の般化